

グループわ 7月～10月のイベント

開催日時・場所	テーマ・内容と協力グループ	連絡先
7月30日(土) 16時～20時 しあわせの村 芝生広場	しあわせの村まつり 協力：うらしまたろう、むかしあそび研究会、本部スタッフ	こうべ市民福祉振興協会 743-8092
8月7日(日) 9時40分～ 13時40～ しあわせの村 野外活動センター	夏休み昆虫採集と標本づくり教室 講師：宮崎敏哉先生 協力：里山和楽会	グループわ 743-8101
8月2日(火)～14日(日) 10時～15時 水の科学博物館	<わ>で遊ぼう！ 夏休み工作 協力：花実の森、ケナフの会、たんすの肥やし、楽遊クラブ銀雅 むかしあそび研究会、木工グループ、うらしまたろう、 野草クラブ、里山和楽会、マジッククラブ、	水の科学博物館 351-4488
8月21日(日) 10時～12時 13時～15時 しあわせの村 研修館	夏休み工作塾 協力：花実の森、ケナフの会、里山和楽会、里山グループ 木工グループ、むかしあそび研究会、絵手紙グループ、創エネ神戸	こうべ市民福祉振興協会 743-8092
9月19日(月・祝) 13時～16時 こべっ子ランド	<わ>のたのしい秋祭り 協力：うらしまたろう、おはなし糸車、むかしあそび研究会	こうべ家庭センター 382-2525
10月15日(土) しあわせ村	グラウンドゴルフ大会	グループわ 743-8101
10月23日(日) しあわせの村	バードウォッチング 冬鳥を観察しよう！ 協力：野鳥と自然観察会	グループわ 743-8101

野鳥観察会 びっくりの発見

グループわ 主催の野鳥観察会が4月29日、しあわせの村で開かれました。野鳥と自然観察会の堀池代表(生17)、難波美智子(生20)、豊辺充也(生18)、丸井宣夫(生12)、茅中英一(生11)さんがガイド役。

野外活動センターから堂坊池の往復3キロ余りを歩いて野鳥の姿を求めました。参加者は初心者が多く21人。

堀池代表は「鳥の動きは素早く、なかなかキャッチできない。鳴き声で鳥の種類を特定、居そうな場所を探すのが早道です」と挨拶し双眼鏡の使い方をレクチャー。「メガネをかけている人はこの部分を触るとよく見えます」と聞き、さっそく試してみると「オーよう見えるわ」と感心しきりです。

スタート地点の芝生にヒヨが歩いているのを見つけ、交代で観察。ハクセキレイ、シジュウカラ、ウグイス、ソウシチョウ、オオタカ、コシアカツバメなどを観察できました。堂坊池では水上の巣で卵を抱いているカイツブリを発見。水鳥は動き



がゆっくりなので堂坊池には必ず、立ち寄るそうです。参加者は「視覚は限定的。聴覚は360度だから鳴き声から入れと教わり目からうろこ。わかりやすく、ユーモアたっぷりの説明で大満足です」と感想を話していました。

(取材・写真 広報 永野知己)

東北支援チームが同窓会

東北支援チーム(1～6次)に参加したメンバー18人が6月9日、三宮で同窓会を開き支援活動の思い出を語り合いました。当時の記録ビデオを見ながら、田んぼ作業や昔遊び、三味線・銭太鼓の公演、料理交歓会、スポーツ交流会などの体験談を1人ずつ発表しました。わけでも、現地の惨状に涙が止まらなかったこと、仮設住宅の皆さんと本音で話し合えたことが深く心に残っているようでした。「しんどかったけど支援活動はやってよかった」「現地と<わ>との絆が築けた」との思いが皆さん共通の声でした。

現地への派遣メンバーは計42人、延べ80数人になります。「5年経って支援活動に区切りがついたので、一度集まったら」ということで今回の会合になりました。ゲストの理事長からは熊本地震支援の話も出ましたが、「東北で見せた結束力を、今後もKSCの活動に生かそう」と誓いあって散会しました。

(元東北支援チーム・南形徹)